



# いちき串木野市立生冠中学校 宝本エピソード

令和2年8月21日発行①

母



わたし

## 【エピソード】

この本を保育園からもらったとき、いつも母が夜読んでくれました。それから自分で読めるようになってからもずっと読んでいました。今も、たまに読んでいます。「ましろ」というやぎとカラスのお話です。絵もかわいいです。やぎとカラスというあまり関わることのない二つの動物の設定で、会話をしたり行動したりする話に、今、読んでいると誰とでも仲良くできるのかなあとと思います。

1年 小瀬 あつみ



書名 ましろとカラス  
著者名 ふくざわ ゆみこ  
出版社名 精興社

兄

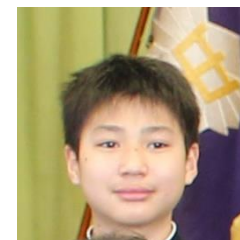


わたし

## 【エピソード】

ぼくは、この銭天堂を兄に紹介してもらって、試しに読んでみました。すると、とてもおもしろくてお気に入りになりました。ちょうどその時、ビブリオバトル大会に誘われたので、練習して参加したら、優勝できました。そうしたら、みんなから人気が出て、図書室に1, 2巻だけだったのが、いっきにいくつも増えました。そこから、私の宝本になりました。

1年 西田 佑亮



書名 銭天堂  
著者名 廣嶋 玲子  
出版社名 偕成社

母



わたし

## 【エピソード】

この本は、母が小さいころから、祖母に読んでもらっていた本で、私も小さいころ母にこの本を何回も読んでもらっていました。主人公の女の子は、はずかしがりやで大きな声がでず、勇気を振り絞って「牛乳ください。」と言ったところが自分の中ですごく心に残っています。小さいころ読んでいたときは、勇気を振り絞って言えたことがすごいな、自分もこんなことがしっかりとできるようになりたいななどと、この本がきっかけで思わせてくれました。中学生になった今でも、この本が宝本です。

1年 甫立 芽依



書名 はじめてのおつかい  
著者名 筒井 頼子  
出版社名 福音館書店



# いちき串木野市立生冠中学校 宝本エピソード

令和2年8月21日発行②

家族



わたし

書名 夢をかなえるゾウ  
著者名 水野 敬也  
出版社名 飛鳥新社

## 【エピソード】

体は人間で、頭はゾウ、4本の腕の神様「ガネーシャ」はインドでも親しまれています。しかし、この本に出てくるガネーシャは、あんみつが好きだったり、関西弁を話したり・・・、ちょっと不思議な神様です。この本は、家の本棚にあった本で「おもしろい」と母に勧められて読み始めました。そして、寝る前に少しずつ読み進め、あっという間に一冊読み終わりました。その後、二巻・三巻も読み終わりました。現在は寝る前の読書が欠かせません。そして、妹もこの本を読み始めました。まだ少し難しい内容のようです。この本のおかげで、家族の生活が豊かになりました。

1年 町田 美有



友達



わたし

書名 伊達 政宗  
著者名 すぎた とおる  
出版社名 ポプラ社

## 【エピソード】

この本は、自分と友達が戦国のゲームをしているときに、自分がすごくカッコイイと思ったのが、この本に書いてある伊達政宗です。宮城県では、伊達者と呼ばれる人もいます。政宗は、幼少期に病気になり右目を失いました。でも、くじけることなく、強い男になりました。だから僕は伊達政宗が好きで宝本にしました。

2年 小山 祐輔



友達



わたし

書名 脳漿炸裂ガール  
著者名 吉田 恵里香  
出版社名 角川ビーンズ文庫

## 【エピソード】

中学1年生のときに小説が読みたいと思い、書店に行って探していたら、この本を見つけました。見たことのあるタイトルで、読んでみたいと思いました。この本は、ボーカロイドの曲「脳漿炸裂ガール」という曲をもとにつくられていて、その曲の感じをそのまま表現してあってとてもおもしろかったです。この本を、ボーカロイドを知っている友達に貸したりして、前より話の話題が増えたので宝本に選びました。

2年 谷口 円花







# いちき串木野市立生冠中学校 宝本エピソード

令和2年8月21日発行③



わたし

書名 ブートピア  
著者名 スーザン・フランシス  
出版社名 偕成社

## 【エピソード】

ジュディ・ホップスさんは小さい頃、警官になるのが夢だった。でも、オオカミはジュディ・ホップスさんに「警官になれるわけがない」と言った。だけど、ジュディ・ホップスさんは諦めなかった。そして、警官になった。僕は、そのところを読んで思った。「あきらめなければ、前に進めるんだ」と。だから、スポーツや勉強の時に僕はあきらめない。そうしたら、いい結果になった。僕を成長させてくれる宝本だ。

2年 二見 聖也



わたし

書名 きみの存在を意識する  
著者名 梨屋 アリエ  
出版社名 ポプラ社

## 【エピソード】

部活も勉強もうまくいかず、「何もしたくない」と思っていた。そんなある日、いつものように図書室に行くと、この本が目飛び込んできた。なぜか、この本をすごく読みたくてたまらなかった。この本は、それぞれ問題を抱えている5人の中学2年生の物語。一人一人、必死に問題に立ち向かう姿に「私もまだまだ頑張らないと」と思うことができた。そして、いろいろなことに挑戦していきたいと思った。これからも精一杯生きていきたい。

2年 松田 碧華



わたし

書名 勉強が楽しくなっちゃう本  
著者名 Quiz Knock  
出版社名 朝日新聞出版

## 【エピソード】

もともと「Quiz Knock」をYou Tubeで見えていて、つい最近この本が発表された時に「絶対読もう!」と思った。まず、図書館司書の先生にお願いして入れて貰って、一番に読んだ。受験生の私にとって、とてもためになることがたくさん、事細かに、しかし分かりやすく書かれていた。その後、個人でも買った。年月としては短い。だけど、自分のため(宝)になった。

3年 池之上 光





# いちき串木野市立生冠中学校 宝本エピソード

令和2年8月21日発行④

|    |                                                                                     |     |                |                                                                                                                                                                                                                                                                      |                                                                                       |
|----|-------------------------------------------------------------------------------------|-----|----------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|
|    |    | わたし | <b>【エピソード】</b> | <p>この本は、「中学生はこういう勉強の仕方をした方がいい」「このやり方なら、はかどる」などと、小学生の時とは違った勉強方法じゃないといけないときに、この本を見て、楽しく勉強ができるようになりました。どの章もいいですが、特に印象に残ったのが第3章の「楽勉」で楽しく楽々底力アップです。普通に勉強するよりも楽しく続けられるものが一番いいと思い、この章を読んでみると、生活や遊びの中で楽しく学んだり、楽しく学ぶためのアイテムなどが紹介されていました。勉強が苦手な僕でも、勉強が好きになれた宝本です。 3年 軍原 隼斗</p> |    |
| 家族 |    | わたし | <b>【エピソード】</b> | <p>主人公である「まい」は、中学に入ったばかりの頃、不登校になってしまい、しばらくの間、魔女であるおばあちゃんの元で暮らすことになる。そこで、まいは魔女修行をすることになる。修行といっても、それは規則正しく生活をするすることで、まいにとっては、これで魔女になれるとは思えなかった……。この本は、家族みんなで読んでいて、家族愛や人間の死について考えさせられます。家族みんなの宝本です。 3年 町田 有香</p>                                                        |   |
| 先生 |  | わたし | <b>【エピソード】</b> | <p>この本を紹介してもらいました。私はミステリー小説や推理小説が好きです。昼休みに先生におすすめの本を聞き、「ミステリーの本だよ」と教えてもらい読み始めました。保育士さんが主人公で、新任の先生として私立幼稚園で働き始めたところ、保護者との関係やその他のトラブルにまきこまれ、たいへんな日々を過ごします。そして、最後に大きな事件が起きてしまいます。自分でどうなるのか考え想像するのが楽しかったです。先生にこの本を紹介してもらえて、明日への勇気も湧いてきたので宝本です。 3年 吉村 歩乃佳</p>             |  |

